

市長発言要旨

令和7年度米沢市人事異動について

今回の人事異動は、定年退職者の他、役職定年となる職員の増加により、管理監督職の異動が比較的大きいものとなりましたが、組織改編を行いつつも全体としては平年並みのものとなりました。

私が市政運営の中心に掲げる「好循環の米沢」を築く取組を推進するため、この度の人事異動においては、適材適所の人事を念頭に置き登用をいたしました。

特に、施策を実行するための事業や事務の推進役となる役付職員（担当主査以上。以下同じ。）については、能力主義を基本とし、これまでの職務経験が生かされることを期待して登用するとともに、さらに国との連携の必要性を重要視し、この度、企画調整部長を国（経済産業省）から招へいしました。部長級職員に国から招へいすることは米沢市においては初めてのケースとなります。また一方で、米沢市からは国の機関（財務省、経済産業省）へ2名の職員を出向させました。おのおのの経験、知恵、スキルを活かし、この出向により国との関わりを深めることで新しい力が生まれるものと信じております。

次に、組織改編につきましては、主に3点ございます。一つ目は、企画調整部において改編を行い、デジタル分野の施策を強化し、市政に関することだけでなく市長としての思いを伝えられるよう情報発信力を高めてまいりたいと考えております。二つ目は、昨今、被害が増加している有害鳥獣への対策を推進するため、森林農村整備課に新たな担当（鳥獣対策担当）を設置しました。三つ目は、おいしい給食を安定して提供できる体制づくりをするため、学校教育課に「おいしい給食推進室」を設置しました。

このように、適材適所の最適な人事のもと、好循環の米沢を実現していくため、職員がそれぞれの職場において、市民の皆様と対話を重ね、提案と改善を繰り返し、為すべきことに真摯に向き合いながら、持てる力を十分に発揮してくれるものと信じております。

また、女性の役付職員（課長級以上）の人数は、昨年度より2人増え70人となり、割合としては、32.6%となります。このうち、女性の管理職員の人数は10人であり、割合は18.2%となります。

今後も引き続き、能力主義を基本とした登用を進めていきたいと考えております。

【回答事項】

①天元台の断水について

天元台の断水につきましては、天元台高原スキー場を楽しみにしているスキーヤーなどの観光客、ペンションや旅館の営業をされている事業者や地域の方々にご迷惑とご不便をおかけしております。本市は株式会社天元台の筆頭株主でありますので、こうした事態になったことに、お詫び申し上げます。

3月20日から水源地から水を引くための仮設水道管の設置工事を実施しており、22日の時点で、アルプ天元台、各ペンションに一定程度の水が供給できることが確認されました。本日時点で、ペンションの男子トイレの1/3、女子トイレの5/9が使える状況となっております。

ペンションでの入浴はまだ難しく、アルプ天元台を利用しておりますが、各ペンションは水曜日を除く、週6日の営業を再開したと聞いております。現在、水質を確認中であり、安全が確認され次第、アルプ天元台は早ければ28日にも通常営業を再開する予定です。

天元台の積雪は、今も7メートル以上ありますので、例年5月のGW上旬までの営業期間を5月下旬まで延長する予定であります。

また、今回の断水により、今年度のスノーシーズンの入込数がコロナ前の平均値より10%減の2万5千人となる見通しです。

株式会社天元台の経営は依然として厳しい状況にあり、状況によっては、何らかの経営支援の検討をしたいと考えているところです。